

高根・大須戸川エリア

高根川、大須戸川、薦川に沿って集落が点在している。

面 積：約 66 km² 南北方向：約 6 km、東西方向：約 11 km

人口世帯：約 10,000 人（高齢化率：29.6%） 約 3,000 世帯

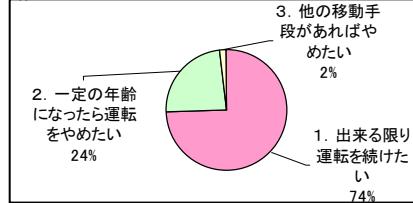
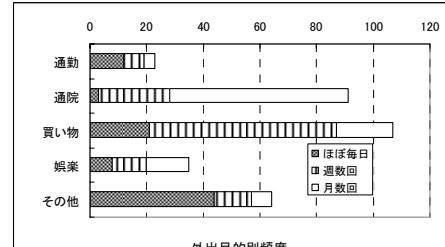
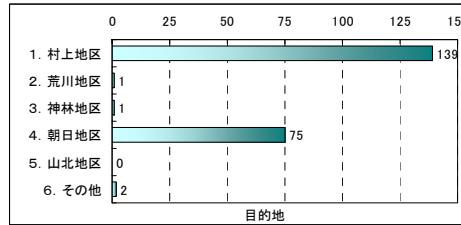
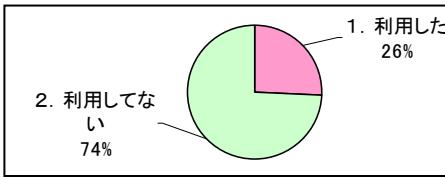
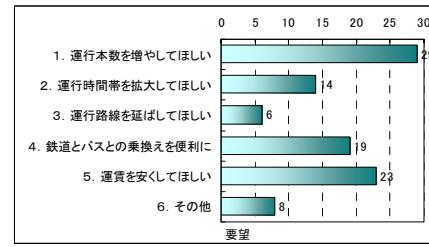
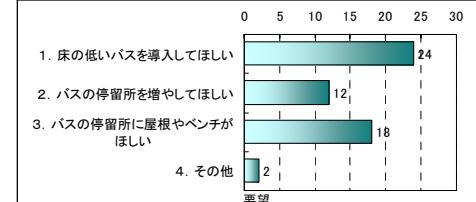
集落数：34

高校生学生数：約 300 人

合併前の市町村名：朝日村



| 項目 | 内 容 |
|------------------|--|
| エリア内の主な施設等 | <p>【医療】村上市街地へ</p> <p>【学校】小学校 5 校(朝日みどり小学校、塩野町、猿沢、小川、山辺里) 中学校 2 校(朝日、村上東) 高 校...村上市街地へ</p> <p>【商業】村上市街地、国道 7 号沿いの商業施設</p> <p>【観光】市営ぶどうスキー場、朝日きれい館、体験交流センター 他</p> <p>【行政】朝日支所、総合文化会館、朝日総合体育館 他</p> |
| 既存交通体系 | <p>【A 路線バス】2 路線 (4 系統)</p> <p>村上営業所～猿沢～北中／塩野町車庫 (村上営業所～北中間 : 32.3km・880 円) • 1 日の運行回数...9.5 回 • 1 日あたり平均乗車人数...4.98 人 • 始発...塩野町車庫前 6:36 発 村上営業所行 • 最終...村上営業所 18:29 発 塩野町車庫前行</p> <p>村上営業所～岩沢～大須戸 / 高根 (村上営業所～高根間 : 22.5km・680 円) • 1 日の運行回数...9 回 • 1 日あたりの平均乗車人数...3.96 人 • 始発...村上営業所 6:41 発 高根行 • 最終...村上営業所 18:29 発 高根行</p> <p>【B スクールバス】</p> <p>通年運行 : 高根、北大平、本小須戸、原小須戸、塩野町、松岡、早稲田、大須戸、薦川、荒沢</p> <p>冬季運行 : 板屋越、檜原、猿沢、川端、上野、鵜渡路、下中島、宮ノ下、寺尾、西興屋、四日市、関口、黒田、猿田、朝日中野、中原、岩沢、下新保、十川、あけぼの、古渡路</p> <p>【C その他のバス】</p> <p>特になし</p> <p>【D 鉄道】</p> <p>特になし</p> |
| 係わりがある想定される組織・団体 | <p>〔民間事業者〕 (交通事業者)・新潟交通観光バス・村上観光・大滝自動車・村上タクシー・瀬波タクシー • 岩船タクシー・山北タクシー</p> <p>〔教育機関〕 (小学校)朝日みどり小学校、塩野町小学校、猿沢小学校、小川小学校、山辺里小学校 (中学校)朝日中学校、村上東中学校</p> <p>〔商工観光団体〕 • 村上商工会議所・村上市朝日地区観光協会・朝日商工会</p> <p>〔市民団体〕 • N P O都岐沙羅パートナーズセンター • 都岐沙羅体験観光ネットワーク • 各町内会・自治会 等</p> <p>〔行政〕 • 村上市役所 • 朝日支所</p> |

| | | | | |
|----------------------|-------------------------------|--|------------------------|--|
| 住民意識・行動形態（アンケート結果より） | 運転継続意志 |  | 外出目的別の外出頻度 |  |
| | 最も多い外出の目的地 |  | 過去1年以内でのバス利用 |  |
| | 路線バス運行への要望 |  | バスの車両形態や停留所への要望 |  |
| | 課題および課題解決に向けた方策・取り組み試案 | <p><エリアの特性></p> <ul style="list-style-type: none"> 高根川、大須戸川、薦川、国道7号に沿って集落が形成。 村上市街地～最遠の高根集落までは約20km、車で約40分を要する。 エリアにおける最も多い外出先は村上地区となっている。 | | |
| | | <p><エリアの課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスサービスのある集落とない集落が存在。 路線バス運行本数が少なく、通勤や通学では利用しづらいダイヤ設定。 小中学校は専用のスクールバスを運行しており、既存のバス路線との重複区間が存在する。 | | |
| | <課題解決に向けた方策（案）> | <p>公共交通空白地域の解消。</p> <p>移動目的に沿った利便性の良い運行ダイヤの設定と便数の増便。</p> <p>路線バス・スクールバスの効率の良い運行方法や間合い利用を検討。</p> <p>基幹バスとの連携。</p> | | |
| | <取り組み試案> | <p>基幹バスとの乗換ポイントを起点とし、高根集落までを支線ルートとする定時定路線型のバスの運行。</p> <p>国道7号沿線の集落については、基幹バスがカバー。</p> <p>支線から離れた集落については、住民ニーズを踏まえ、サービス水準（運行する曜日や1週間あたりの運行頻度）を設定し運行する。</p> <p>朝夕は村上市街地（村上駅）へ直通し、通勤・通学に対応できるダイヤを設定。</p> <p>スクールバスの混乗化、間合い利用による有効活用を検討。</p> <p>車両を小型化し、集落内まで運行。</p> | | |
| 連携すべきエリア | | | | |

(出典) 人口・世帯数・高齢化率：住民基本台帳(H21.8)、高校生：学校基本調査結果(H19.5)、施設：村上市HP、バス情報：新潟交通観光バス(H21.3)、村上市、ジャスコ村上東店HP、JR情報：JR東日本HP(H21.3)

⑩高根・大須戸川エリア 現況課題図

